

モニタリングレポート(平成30年度)

施設名	鈴鹿川河川緑地運動施設				
施設所在地	鈴鹿市庄野町1198番地の1外				
指定管理者名	中部安全サービス保障株式会社				
評価担当課	スポーツ課	問合せ先	059-382-9029		
施設の運営状況	(確認方法)日報, 月次報告書, 年度事業報告書				
開館日数	357日	総利用者数	37,732人	1日当たりの利用者数	106人
開館時間	・4月1日から9月30日までは午前7時から日没まで ・10月1日から翌年3月31日までは午前7時から午後5時まで				
事業収支	(確認方法)年度事業報告書				
項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)		
指定管理料	4,375,000	4,375,000	0		
利用料金	0	0	0		
事業収入	50,000	0	▲ 50,000		
収入計	4,425,000	4,375,000	▲ 50,000		
人件費	2,600,000	2,725,030	125,030		
旅費交通費	150,000	50,598	▲ 99,402		
通信運搬費	0	0	0		
受信料	0	0	0		
消耗品費	450,000	556,709	106,709		
修繕費	300,000	78,739	▲ 221,261		
印刷製本費	0	0	0		
燃料費	60,000	28,028	▲ 31,972		
光熱水費	0	0	0		
賃借料	0	0	0		
手数料	0	2,700	2,700		
保険料	150,000	136,900	▲ 13,100		
委託費	110,000	53,784	▲ 56,216		
本部管理費	50,000	0	▲ 50,000		
備品購入費	100,000	59,908	▲ 40,092		
自主事業経費	50,000	34,642	▲ 15,358		
租税公課	255,900	265,800	9,900		
支出計	4,275,900	3,992,838	▲ 283,062		
収支	149,100	382,162	233,062		

評価項目	確認方法	評価	所見
業務の履行確認 (計画書や仕様書の内容を満たしているかを○×で評価)	月次報告書	○	すべて適切に履行されている。
	現地調査	○	すべて適切に履行されている。
	定例報告会	○	すべて適切に履行されている。
サービスの質 (「優良・良・普通・要改善」の4段階で評価)	アンケート	優良	H30年4月からH31年3月にかけて実施。満足度は高いが、有効回答件数が少ない。
	現地調査	優良	衛生面や景観面等を常に配慮し、適切に維持管理されている。
業務遂行能力 (各種財務指標等を参考に同業他社との比較も含めて○×で評価)	貸借対照表	○	マニュアルの確認事項はすべて問題なし。
	損益計算書	○	マニュアルの確認事項はすべて問題なし。
	年度事業報告書 (事業収支表)	○	マニュアルの確認事項はすべて問題なし。
年度業務報告書の内容評価			(適)・不適
業務の履行, サービスの質, 業務遂行能力, 施設管理運営能力, 非常時の危機管理能力, いずれの点においても非常に安定した内容である。			
定例報告会の頻度と内容の評価			(適)・不適
月次報告書の提出及び3ヶ月に一度報告会を開催し, 報告書に関する質疑応答や課題の共有を行う。定例報告会等で課題となった事案について, 即座に対応可能な内容については, 迅速に対応を行うなど, 安定的な施設の管理運営に努めている。			
緊急時の対応評価			(適)・不適
事前に危険が把握できる台風の接近や大雨予報による河川の増水に対し, 水没の有無に関わらず, 流される危険がある遊具や簡易トイレなどの設備を移動させるなど, 適切な対応を図り, 被害を最小限に止めることができている。			
指定管理者の総括評価			(適)・不適
業務の履行, サービスの質, 業務遂行能力に問題はなく, また, 台風を含めた災害への危機意識はもとより自主的に施設内の遊具や備品等の修繕, 施設内外の雑草処理など, 施設整備を積極的に行う意識の高さで, 利用者の利便性向上に日々努めている。今年度初めて実施した自主事業(テニス教室等)についても, 事前準備の段階から用意周到な計画の下, 大きな混乱も無く自主事業を実施するなど, 安定した管理運営を行っている。			
施設の課題と対策			
平成30年度については, 台風の接近や大雨による河川の増水によって, 川に隣接する運動施設及び公園施設が水没する被害は免れたが, 引き続き, 施設が抱えるハード面での課題を劇的に改善させることは困難であるため, 危機管理意識を高め, 被害を最小限に抑える対応に尽力する必要がある。			
施設の方向性			
ハード面で抱える課題はあるものの, 施設利用者数は年間を通じて安定しており, 多種多様なスポーツの利用者が使用できる複合的スポーツ施設としても大きな役割を担っていることから, 今後も施設を維持していくことが非常に重要である。			